




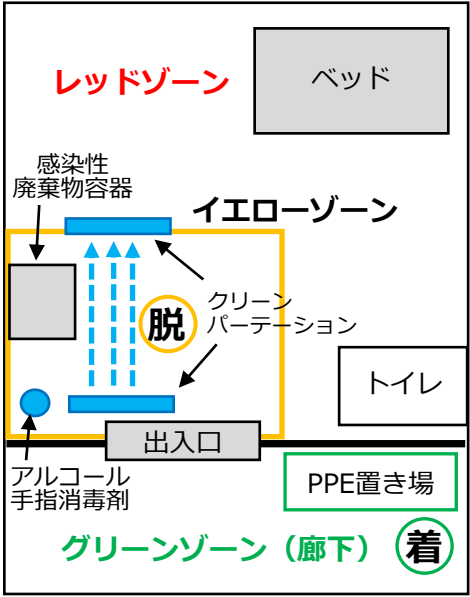


コロナ陽性者対応時のPPE着用の原則

場面の例	病室に入る時 ・患者の近くに行かない場合 ・患者が無症状でマスクを着用している場合	・患者と会話をする時 ・患者が咳をしている時	・検温 ・診察（聴診など）	・喀痰吸引 ・食事介助 ・口腔ケア ・体位変換 ・オムツ交換 ・トイレ介助 ・環境整備	・気管挿管 ※頭部も含め飛沫に曝露する処置
着用する防護具	N95マスク 	N95マスク アイガード 	N95マスク アイガード 手袋 	N95マスク アイガード 手袋 エプロン 	左記PPE +キャップ 
目的	空気中のウイルスの吸い込みを防ぐため	飛沫から目の粘膜を防護するため	患者または環境表面のウイルスに触れた手で①②に触れないため ①他の患者・環境表面 ②自分の目鼻口の粘膜	患者に密着するケアや飛沫を浴びるケアを行う際に、身体の広範囲にウイルスが付着するのを防ぐため 長袖ガウンは原則不要 （白衣が長袖の場合など腕を洗えない時に限り、ガウン着用）	多量の飛沫に曝露する処置を行う場合に、飛沫の曝露を防ぐため
着脱に関する注意点	<ol style="list-style-type: none"> PPEは、陽性者の病室（居室）に入る前に着用する。 PPEは、前室またはイエローゾーンで全て脱ぐ。 <ul style="list-style-type: none"> N95マスクもイエローゾーンで外す。再使用する場合はビニール袋に入れ、廊下に出て新しいサージカルマスクを着用する。 センター、一般寮の居室でPPEを脱ぐスペースがない場合、廊下の一部をイエローゾーンと考えて対応する。 脱ぐ場所に、<u>感染性廃棄物容器</u>と<u>アルコール手指消毒剤</u>を置く。 病室内にクリーンパーテーション（HEPAフィルター）を設置しウイルスを含む空気が出入口側へ流れないようにする。 N95マスクの使用について <ul style="list-style-type: none"> 交換は、原則として1日1回（ただし、1日の装着時間が1時間に満たない場合は1週間に1回を目安に交換）とする。 N95マスクを再使用する場合、N95マスクの上にサージカルマスクを重ねて着用し、サージカルマスクを1回毎に廃棄する。 再使用する場合、個人ごとにビニール袋などで保管する。 				



陽性者の病室ゾーニングの例